

平成 23 年 9 月 26 日

原発事故による山口県学校給食会で取扱う学校給食用物資の安全性について

原発事故による農水産物等の安全性については、国、県が風評被害の払拭を含めて、安全確認の検査を行っているところであり、県学校給食会としては、基本的にはその結果に基づき対応していくこととしています。

記

対応方針

放射性物質については、国によるモニタリング調査が実施され、暫定基準値を超えないものが出荷されており、現在、市場に流通しているものは、基本的には安全だと考えています。

また、一般物資については当会から製造業者に対して「主要原材料については、その安全性について、十分留意するように」という旨の指示を行っています。

精 米

11 月から、新米への切り替えを予定していますが、米に関しては全て県内産の米を使用しており、既に県の検査で放射性物質は検出されておらず、その安全性が確認されています。

小麦粉

パン用の小麦粉については、県内産、外麦（アメリカ、カナダ産）を使用しており、調理用の小麦粉についても同様です。

牛 肉

牛肉については、問題のないオーストラリア産を使用しており、国産についても該当地域の牛肉、飼料を使ったものは扱っていない旨を確認しています。

野 菜（タマネギ、ニンジン、馬鈴薯）

野菜については、山口県産、九州産、北海道産を使用しており、安全は担保されていると考えています。

果 物

果物については、リンゴは青森、長野県産ですが、検査を行っている産地のものを調達しており、みかんについては現在は九州産ですが、10 月 5 日からは県内産の使用となります。

魚 類

魚類については、国が 17 都県のものについて週一回の検査を行っており、安全は担保されていると考えています。

学校給食用物資の取扱いについては、今後とも国、県の対応及び指導を注視しながら、安全・安心な物資の提供に努めてまいりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。